

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ショーワ

コード番号 7274 URL <http://www.showa1.com>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 北條 陽一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 真野 洋介 TEL 048-554-1151

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	176,119	11.0	10,269	83.8	10,601	116.0	6,682	ー
24年3月期第3四半期	158,702	△11.6	5,585	△31.0	4,908	△33.3	103	△94.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 8,332百万円 (ー%) 24年3月期第3四半期 △1,872百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	87.96	ー
24年3月期第3四半期	1.37	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	151,536	85,016	47.5	947.10
24年3月期	155,540	81,010	43.2	884.61

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 71,948百万円 24年3月期 67,201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	ー	0.00	ー	10.00	10.00
25年3月期	ー	12.00	ー		
25年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	233,000	7.9	12,500	66.5	13,000	77.4	7,000	174.6	92.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 有

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものです。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期3Q	76,020,019株	24年3月期	76,020,019株
25年3月期3Q	52,843株	24年3月期	52,634株
25年3月期3Q	75,967,259株	24年3月期3Q	75,967,433株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、[添付資料] P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はTDnetおよび当社ホームページで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から12月31日までの9ヶ月間）の売上高は、二輪車用製品の販売は、主にブラジルおよびインドネシアにおける金融規制の影響により減少しましたが、四輪車用製品の販売は、主に日本における震災からの復興需要および北米やアジアにおける好調な自動車市場に牽引され増加し、1,761億1千9百万円と前年同四半期に比べ11.0%の増収となりました。また、利益につきましては、売上変動・構成変化、原価低減による改善効果などにより、営業利益は、102億6千9百万円と前年同四半期に比べ83.8%の増益、経常利益は、106億1百万円と前年同四半期に比べ116.0%の増益、四半期純利益は、66億8千2百万円（前年同四半期は四半期純利益1億3百万円）となりました。

事業セグメント別の業績は次のとおりです。

なお、当社グループは、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しています。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。また、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

<二輪・汎用事業>

二輪・汎用事業の売上高は、582億3千7百万円（前年同四半期比8.0%減）となり、営業利益は、55億9千1百万円（前年同四半期比29.2%減）となりました。

<四輪事業>

四輪事業の売上高は、726億4百万円（前年同四半期比27.9%増）となり、営業利益は、28億5千6百万円（前年同四半期は営業損失13億1千6百万円）となりました。

<ステアリング事業>

ステアリング事業の売上高は、657億9千4百万円（前年同四半期比15.5%増）となり、営業利益は、11億6千7百万円（前年同四半期は営業損失16億8百万円）となりました。

<ガススプリング事業>

ガススプリング事業の売上高は、42億6千5百万円（前年同四半期比12.0%増）となり、営業利益は、1億7千2百万円（前年同四半期は営業損失1億4千9百万円）となりました。

その他

その他の売上高は、91億6千5百万円（前年同四半期比18.6%増）となり、営業利益は、6億1千万円（前年同四半期比47.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、1,515億3千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億3百万円減少しました。各項目別の主な要因は次のとおりです。

<流動資産>

流動資産は812億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億5千5百万円減少しました。これは主に有価証券、商品及び製品、原材料及び貯蔵品の減少によるものです。

<固定資産>

固定資産は703億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億4千7百万円減少しました。これは主に有形固定資産の減少によるものです。

<流動負債>

流動負債は487億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億5千5百万円減少しました。これは主に短期借入金の減少によるものです。

<固定負債>

固定負債は177億3千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億5千4百万円減少しました。これは主に長期借入金の減少によるものです。

<純資産>

純資産は850億1千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億5百万円増加しました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期(平成24年4月1日から平成25年3月31日までの12ヶ月間)の連結業績予想は、以下のとおり平成24年10月29日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

売上高	2,330億円	前連結会計年度比	7.9%増
営業利益	125億円	前連結会計年度比	66.5%増
経常利益	130億円	前連結会計年度比	77.4%増
当期純利益	70億円	前連結会計年度比	174.6%増

為替レートは、通期平均で、1米ドル=80円を前提にしています。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産(リース資産を除く)については、当社及び国内連結子会社は、主として減価償却方法を定率法(ただし、平成19年4月1日以降に取得した建物については定額法)によっていましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しています。

従来、当社及び国内連結子会社の製品は総じて新型車の立ち上がり時に受注が多く年数の経過とともに受注減少となる傾向がありましたが、近年は、受注は特定車種の売れ行きに左右された過去に比べ安定的となる傾向が強まりつつあり、かつ、主要得意先においてグローバル車種の拡充や製品・部品の共有化が進んでいます。こうした経営環境のもとで、事業方針として、海外を含む生産拠点間で柔軟に機種移管ができるよう生産ラインの汎用化を進めてまいりました。さらに当期首より事業本部制を導入し、各生産拠点で長期安定的生産を推進していくこととしました。これを契機として有形固定資産の使用状況を見直した結果、今後の設備の安定的な稼働並びに投資効果の収益に対する長期安定的な貢献が見込まれるようになりました。

これにより耐用年数にわたり均等償却による原価配分を行うことが有形固定資産の使用の実態をより適切に反映できるため、減価償却方法を定額法に変更することが合理的であると判断しました。

この結果、従来の方針によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が522百万円それぞれ増加しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,289	19,226
受取手形及び売掛金	32,382	31,789
有価証券	3,800	—
商品及び製品	5,697	4,767
仕掛品	3,202	3,523
原材料及び貯蔵品	15,725	14,927
その他	6,633	7,066
貸倒引当金	△172	△97
流動資産合計	84,559	81,203
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,392	15,634
機械装置及び運搬具（純額）	26,807	24,967
その他（純額）	14,211	14,236
有形固定資産合計	57,411	54,838
無形固定資産		
のれん	1,660	2,019
その他	102	89
無形固定資産合計	1,763	2,108
投資その他の資産		
投資有価証券	8,142	10,115
その他	3,680	3,288
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	11,805	13,386
固定資産合計	70,981	70,333
資産合計	155,540	151,536

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,952	25,534
短期借入金	11,105	7,712
未払金及び未払費用	6,562	9,080
未払法人税等	1,265	881
製品保証引当金	1,538	1,490
賞与引当金	2,665	1,101
その他	3,045	2,979
流動負債合計	53,136	48,781
固定負債		
長期借入金	10,812	7,393
製品保証引当金	1,124	1,075
退職給付引当金	5,985	6,498
その他	3,471	2,771
固定負債合計	21,393	17,739
負債合計	74,529	66,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,698	12,698
資本剰余金	13,455	13,455
利益剰余金	52,440	57,508
自己株式	△53	△53
株主資本合計	78,542	83,609
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,174	3,334
繰延ヘッジ損益	—	△1
為替換算調整勘定	△14,515	△14,994
その他の包括利益累計額合計	△11,340	△11,661
少数株主持分	13,808	13,067
純資産合計	81,010	85,016
負債純資産合計	155,540	151,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	158,702	176,119
売上原価	137,346	148,709
売上総利益	21,355	27,409
販売費及び一般管理費	15,769	17,140
営業利益	5,585	10,269
営業外収益		
受取利息	600	409
受取配当金	119	96
持分法による投資利益	352	264
補助金収入	384	26
その他	186	229
営業外収益合計	1,642	1,026
営業外費用		
支払利息	573	333
為替差損	1,613	302
その他	133	58
営業外費用合計	2,320	694
経常利益	4,908	10,601
特別利益		
固定資産売却益	12	383
段階取得に係る差益	61	—
特別利益合計	74	383
特別損失		
固定資産売却損	4	12
固定資産廃棄損	46	99
減損損失	340	61
為替換算調整勘定取崩損	—	253
特別損失合計	391	426
税金等調整前四半期純利益	4,590	10,557
法人税等	2,312	2,748
法人税等還付税額	—	△1,051
少数株主損益調整前四半期純利益	2,278	8,860
少数株主利益	2,174	2,177
四半期純利益	103	6,682

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,278	8,860
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△908	159
繰延ヘッジ損益	—	△1
為替換算調整勘定	△3,000	△700
持分法適用会社に対する持分相当額	△242	14
その他の包括利益合計	△4,151	△527
四半期包括利益	△1,872	8,332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,146	6,361
少数株主に係る四半期包括利益	1,274	1,971

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)2	合計	調整額 (注)3	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)4
	二輪・ 汎用事業	四輪 事業	ステアリ ング事業	ガススプ リング 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	56,350	47,849	45,200	2,108	151,507	7,194	158,702	—	158,702
セグメント間の 内部売上高又は 振替高 (注)1	6,944	8,917	11,783	1,700	29,345	536	29,881	△29,881	—
計	63,294	56,766	56,983	3,808	180,852	7,730	188,583	△29,881	158,702
セグメント利益 又は損失(△)	7,895	△1,316	△1,608	△149	4,820	414	5,235	350	5,585

(注) 1. 報告セグメント内の内部取引を含んでいます。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車販売等を含んでいます。

3. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、内部取引消去及び未実現利益消去等です。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)2	合計	調整額 (注)3	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)4
	二輪・ 汎用事業	四輪 事業	ステアリ ング事業	ガススプ リング 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	50,915	60,830	54,013	2,213	167,972	8,146	176,119	—	176,119
セグメント間の 内部売上高又は 振替高 (注)1	7,322	11,774	11,781	2,052	32,930	1,018	33,949	△33,949	—
計	58,237	72,604	65,794	4,265	200,903	9,165	210,068	△33,949	176,119
セグメント利益	5,591	2,856	1,167	172	9,787	610	10,398	△128	10,269

(注) 1. 報告セグメント内の内部取引を含んでいます。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車販売等を含んでいます。

3. セグメント利益の調整額は、内部取引消去及び未実現利益消去等です。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループでは、平成24年4月より、従来の開発・生産・購買などの機能軸と製品・事業軸による「マトリックス経営体制」をさらに進化させるため、「二輪・汎用事業本部」、「四輪事業本部」、「ステアリング事業本部」および「ガススプリング事業本部」の4つの事業本部を新たに組織しました。

これに伴い、従来「日本」、「北米」、「南米」、「アジア」及び「中国」の5つを報告セグメントとしていましたが、「1.当四半期決算に関する定性的情報」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「二輪・汎用事業」、「四輪事業」、「ステアリング事業」及び「ガススプリング事業」の4つを報告セグメントとすることとしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものです。

各セグメントの主要製品は以下のとおりです。

セグメントの名称	主要製品
二輪・汎用事業	二輪車用ショックアブソーバ、船外機用パワーチルトトリム、シリンダ、ポンプアンドモータ
四輪事業	四輪車用ショックアブソーバ、プロペラシャフト、オートマチックトランスミッション部品、デファレンシャルギヤ、その他駆動系部品
ステアリング事業	電動パワーステアリング、油圧パワーステアリング、CVTポンプ
ガススプリング事業	ガススプリング

(会計方針の変更)

「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法を定率法(ただし、平成19年4月1日以降に取得した建物については定額法)から定額法へ変更しています。この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は「二輪・汎用事業」で38百万円、「四輪事業」で165百万円、「ステアリング事業」で273百万円、「ガススプリング事業」で1百万円、「その他」で42百万円それぞれ増加しています。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。



平成 25 年 1 月 30 日

平成 25 年 3 月 期 第 3 四 半 期 連 結 累 計 期 間

参考資料

(単位: 百万円未満切捨て)

	平成24年3月期 第3四半期累計 実績	平成25年3月期 第3四半期累計 実績	差異	平成24年3月期	平成25年3月期	差異		
				通期 実績	通期 予想			
売上高	158,702	176,119	17,416	215,889	233,000	17,110		
事業別	二輪・汎用事業	ショックアブソーバ	61,340	56,398	△ 4,941	80,706	74,340	△ 6,366
		ボート用製品	1,954	1,838	△ 115	2,652	2,640	△ 12
		計	63,294	58,237	△ 5,057	83,358	76,980	△ 6,378
	四輪事業	ショックアブソーバ	38,093	49,976	11,883	53,167	66,260	13,092
		駆動系	18,673	22,627	3,954	26,417	29,940	3,522
		計	56,766	72,604	15,838	79,585	96,200	16,614
	ステアリング事業	56,983	65,794	8,811	77,085	87,200	10,114	
	ガススプリング事業	3,808	4,265	457	5,276	5,470	193	
その他・調整額	△ 22,150	△ 24,783	△ 2,633	△ 29,417	△ 32,850	△ 3,432		
営業利益	5,585	10,269	4,683	7,507	12,500	4,992		
事業別	二輪・汎用事業	7,895	5,591	△ 2,303				
	四輪事業	△ 1,316	2,856	4,172				
	ステアリング事業	△ 1,608	1,167	2,775				
	ガススプリング事業	△ 149	172	321				
	その他・調整額	765	481	△ 283				
経常利益	4,908	10,601	5,692	7,330	13,000	5,669		
純利益	103	6,682	6,578	2,549	7,000	4,450		
1株当たり純利益	1円37銭	87円96銭	86円59銭	33円57銭	92円15銭	58円58銭		
営業利益増減要因		4,683		△ 1,388	4,992	6,380		
売上変動構成変化		4,560		△ 1,694	3,450	5,144		
労務費		△ 1,041		△ 1,566	△ 1,310	256		
原材料価格影響		△ 13		△ 629	△ 70	559		
研究開発費		△ 469		△ 418	△ 560	△ 141		
原価低減効果等		1,457		2,706	2,800	93		
減価償却費		1,069		267	1,410	1,142		
為替影響		△ 879		△ 53	△ 728	△ 674		
研究開発費	4,290	4,757	467	5,880	6,446	565		
設備投資	3,337	4,422	1,084	5,134	7,600	2,465		
減価償却費	7,124	6,162	△ 961	9,777	8,180	△ 1,597		
総資産	150,774	151,536	762	155,540				
純資産	77,712	85,016	7,303	81,010				

個別業績

	平成25年3月期 通期	平成25年3月期 通期	差異	平成24年3月期 通期
	前回予想	今回予想		実績
売上高	110,000	110,000		107,165
営業利益・損失(△)	2,100	2,100		△ 428
経常利益	6,200	6,200		5,254
純利益	6,200	6,200		4,883

※営業利益増減要因の各増減金額は、前年同期を替レートで換算しており、当期が替レートとの換算差は、「為替影響他」に含めています。